

救急救助技術 Rescue Techniques		更新
対象国の条件 : 世界各地域の災害多発国		
研修コース番号 : 201984492-J002		
案件番号 : 201984492		
主分野課題 : 防災/総合防災		
副分野課題 :		
使用言語 : 英語		
案件概要		
<p>本研修は、消防・防災教育訓練機関の救助コース教官、または指導的立場に就くことが予定される者を対象に実施しており、研修受講により、母国における救急救助技術の向上及び当該技術普及のためのアクションプランが作成できるようになる。研修実施機関は、「救急救助技術」分野において日本国内トップクラスの知識・技術・資機材を有しており、また、本研修開設以来、長年の実績等から研修指導に関するノウハウも蓄積している。</p>		
目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 救急救助技術向上に係る人材育成普及プランが作成され、各研修員の所属先において、救急救助に携わる者に対して救急救助技術を指導、普及することを目標とする。</p> <p>【成果】 単元目標 1. 災害により生命・身体が危険に直面し、自力で脱出または避難できない要救助者を救助するための基礎的知識と技術を習得し、実践できる。 2. 救助現場における要救助者への心肺蘇生・止血・骨折固定などの応急手当に関する基礎的知識と技術を習得し、実践できる、また住民への防災教育手法を理解する。 3. 救急救助技術指導者として必要な知識を習得し、実践できる。 4. 研修終了時に、研修員が研修で得た知識、技術を活用して、母国における救急救助技術向上に係る人材育成普及のための計画を立てることができる。</p>	<p>【対象組織】 中央政府・地方政府又は民間の消防・救急救助担当機関</p> <p>【対象人材】 ＜職位＞ 消防防災教育訓練機関の救助コース教官、または指導的立場に就くことが予定される者 ＜職務経験＞ 救急救助業務における知識を持ち、救助活動経験3年以上で、現に救助活動を実施し、または実施することが予測される者</p>	
内 容	本邦研修期間	2019/7/21～2019/9/28
<p>各種救助技術に関する講義及び訓練 ・救助基礎（登はん、渡過、降下、進入要領）・救助器具活用 ・水難救助・山岳救助・事故車両からの救助・倒壊家屋からの救助等</p> <p>応急救護処置に関する講義及び訓練 ・心肺蘇生法・止血・固定等・安全管理に関する講義・救助指揮要領に関する講義 ・国際消防救助隊に関する講義及び訓練・訓練の企画立案に関する講義 ・各種図上訓練、想定訓練及び総合訓練等・救助指揮要領に関する講義、住民への防災教育視察 ・訓練の企画立案に関する講義・各消防本部視察等・大規模災害及び特殊災害に関する講義等、国際緊急援助概要</p>	担当課題部	地球環境部
	所管国内機関	JICA関西（業務一）
	関係省庁	消防庁
	実施年度	2019～2021
主要協力機関	調整中	
特記事項及びホームページ	原則として35歳以下の者。ロープ結索を体得している者。梯子登はん要領及び梯子から建物への進入要領（三点支持の原則）を体得している者。50m以上の泳力を有する者	